

やまぐち 市議会だより



これまでの歩み

未来を創る

定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

令和8年度「新たな挑戦 元気山口」予算 一般会計当初予算総額

944億8千万円

可決

令和8年度
当初予算資料



市報4月号に
当初予算特集
記事あり



山口市は、新市誕生から20年を迎えました。人口減少局面に備えた新市のまちづくりにおける社会基盤整備も概ね完了しつつある中、これまでの「合併モードのまちづくり」から、「新たなまちづくりモード」へ移行していきます。令和8年度予算は、この新たなまちづくりに挑戦していくための予算編成となっています。

今定例会では、限られた財源で最大の効果を生み出す行政運営の在り方等をめぐり、本会議や各分科会で質問し、活発な議論を交わしました。



3月 定例会

2026年
2/16~3/13

上程された議案等

予算

23件

条例

20件

事件議決

11件

諮問

7件

委員会提出

1件

各分科会で、予算を審議しました！

財政運営について

- 複数の事業で歳出削減が見られるなど、厳しい予算編成になっている。
- 厳しい財政状況への懸念はあるものの、市民サービスを停滞させることなく、計画的に運営していくことが重要であり、今回の予算編成は、必要な取組を進めつつ、経費の抑制にも配慮したものと理解する。引き続き、将来を見据え持続可能な財政運営に努めていただきたい。

シェアサイクルの民営化

- 現在、実証事業を行っているシェアサイクルの令和8年10月からの本格運用に向け、市が初期費用の一部を負担することは、民間運営事業者による持続可能な運営体制の構築や、自転車台数の増加等といった利用者のメリットも見込める。官民の連携による、市民・行政・民間それぞれがメリットを感じられる事業展開が、今後、一層重要となることから、本事業がその先駆けとなるよう期待する。



適切な事業の見直し

- 教育分野における一部事業の大幅な予算削減について、各計画の目標達成に影響を与えることを懸念する。
- 全てが一律に縮減されたわけではなく、限られた財源の中で取捨選択や工夫が行われている。事業実績等を踏まえた精査により、事業の目的を維持しながら予算規模や内容の見直しを図るなど、事業維持のための積極的な取組を評価する。今後も、行政サービスを維持しつつ、状況に応じて柔軟な軌道修正を行う等、市民理解が得られるよう取り組んでいただきたい。

浸水対策の強化

- 小郡八方原地区の排水ポンプ設備の設置に係る県道横断の工事について、新たに設置する排水ホースは、耐震性能のあるダクタイトル鉄管*を使用することを確認した。地域住民の期待も高い取組であり、できるだけ早い対応を期待する。
- *ダクタイトル鉄管…地震に強く、壊れにくい鉄製のパイプのこと。

議会での議論が反映されました！！

議員は、市民の皆さんにとって身近な問題や、まちづくりや子育て、教育、地域経済に関することなど、多岐に渡るテーマについて、議会の一般質問等で提案を行い、その一部が実際の取組として反映されています。

これまでに行った提案のうち、令和8年度の取組に反映された事業を紹介します。



市立小・中学校体育館への空調設置 「5か年プロジェクト」スタート

提案

小・中学校体育館は、災害時には避難所として使用されるが、避難環境の向上や防災機能を強化するため空調の設置をしてはどうか。

対応

安心して学べる教育環境づくりの一環として、市立小・中学校体育館への空調設備の設置を進め、5か年で設置率100%を目指す。空調設置については、熱中症リスクの高い小学校を優先に、児童生徒数や地域バランス、過去の浸水被害等の発生状況や、災害時に学校体育館を避難所として開設する可能性等も考慮しながら整備していく。

●予算への反映

小学校施設長寿命化事業：300万円
中学校施設長寿命化事業：200万円



国道2号の4車線化 土地利用の促進

提案

防府市台道から山口市鑄銭司間の4車線化整備を進めているが、地域活性化のため土地利用の促進を検討してはどうか。

対応

4車線化整備により、交通渋滞が緩和されるため、事業所立地等の促進につながる用途地域変更について検討する。

●予算への反映

都市計画基本調査事業：500万円



小学校の給食無償化への対応

提案

学校給食費の無償化に取り組んではいかがか。

対応

令和8年度から、国の補助制度を活用した小学校の給食無償化に取り組む。なお、国の補助基準額を超える食材費に対しては、本市独自に支援を行い、保護者負担が生じない形で給食を提供する。

●予算への反映

学校給食運営事業：5億8,600万円

山口市経済対策第18弾拡充版！補正予算可決！

①水道料金の基本料金4か月分の減免【予算：5億5,000万円】

内容：市民や事業者を対象に、基本料金4か月分、1世帯当たり約5,000円の負担軽減を行う。

問 減免額は妥当か。また、減免に向けたスケジュールを伺う。

答 約5,000円の減免額は、年間の水道料金の基本料金の3分の1に当たり、一般家庭で1か月に20m³の水道水を利用される場合の年間の水道料金の1割を超える額に当たることから、一定の負担軽減効果はあるものと考えている。また、令和8年7月検針分から10月検針分までの減免を予定している。

②井戸等の維持管理に対する支援【予算：2,000万円】

内容：井戸等を利用されている市民や事業者を対象に、水質検査やポンプ稼働に伴う電気代、施設修繕などの給水施設等の維持管理に要する経費に対し、1世帯当たり5,000円を支援する。

問 支援を受けるには申請が必要となるが、申請漏れが生じないようにどのような対応を行うのか。

答 市報や市公式ウェブサイトへの掲載など、様々な広報媒体を使った周知に努めるとともに、電話やメール等による問合せや相談にも丁寧に対応していく。

③社会福祉施設等に対する光熱費高騰対策への支援【予算：1,900万円】

内容：県が行う光熱水費支援補助金の対象とならない市内の社会福祉法人を対象に、県と同等の支援を行う。

問 物価高騰は今後も続く可能性があるが、追加の支援を行う予定があるか伺う。

答 国や県の動向を注視し、市内の社会福祉施設等の経営状況や物価動向の把握に努め、必要に応じて追加支援についても検討する。

(仮称) 南部10,000人プロジェクトの取組

問 (仮称)南部10,000人プロジェクトの取組の方針について伺う。

答 交通利便性の高さを有する本市の南部地域で、小郡、川東、川西の3つのエリアの地域特性を生かした定住促進の取組により、人口減少下でも南部地域全体として人口を10,000人増加させていく方向性である。具体的な取組は、次期総合計画で検討していくが、先行して、鑄銭司第二団地の整備、国道2号台道・鑄銭司拡幅の整備促進とアクセス市道の整備、国道2号沿線の新たな土地利用の促進などに取り組んでいる。今後は、様々な機会を捉え、情報発信に努めるとともに、意見交換会、意識調査等の様々な手法で幅広く意見を伺いながら、具体的な取組を検討していく。

地域クラブ活動の方向性



問 参加意向調査を踏まえた競技・種目の決定状況について伺う。

答 中学1年生と小学6年生を対象に実施した調査では、約6割が参加を希望している。この結果により設置する106の競技・種目を、山口市部活動地域移行通信で公表する。

問 指導者は先生ではなく経験者で、複数校区にまたがる可能性もあるなど、環境の変化が想定されるが、未経験の生徒でも安心して参加できる体制づくりと今後の方向性について伺う。

答 部活動の教育的意義を継承し、経験者だけでなく初心者も参加しやすい環境づくりを行う。あわせて、技術の向上を図り、生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ基礎を培い、人間的な成長へとつながる活動を目指している。これらの理念や方向性は、今後策定する「山口市地域クラブ運営ガイドライン」に明記する。

問 指導者確保のためにはPTAや地域住民の協力が重要と考えるが、どのように取り組むのか。

答 指導者が不足している競技・種目については、地域のスポーツ・文化団体に協力を呼びかけている。御協力いただける方の力を生かすためにも、現状を正しく伝えることが重要であることから、不足状況を市公式ウェブサイト等で公表、共有し、指導者の確保に努めたい。

問 指導者が確保できない競技・種目はどうなるのか。

答 最終決定時点で指導者が配置できないときは、競技・種目等を設置できず、近隣の地域クラブでの活動をお願いする場合がある。



農山村エリアの未来について



問 農地の集約化や担い手の確保等に向け必要な地域計画の今後の方針について伺う。

答 地域の皆様の意向を反映しながら課題の解決に取り組むことで、農業を将来にわたり安定的、持続的な産業として次世代へ引き継いでいきたい。

問 令和7年3月に策定された「山口市農山村エリア居住促進計画」は、計画期間が令和9年度までとなっており、即効性のある踏み込んだ取組が必要ではないか。

答 農業分野では、今年度から退職予定自衛官に対する就農促進に向けた取組を始めた。また、中山間地域での持続可能な農業の実現に向け、農事組合法人の広域連携の促進や、地域外や異業種からの参入など、担い手の確保に向けた取組を県や関係機関と連携し進めていく。

問 本市の主要な作物であるタマネギについて、広域集出荷調製貯蔵施設を整備することで、農業所得の向上にどのように寄与するのか。

答 調製作業や皮むきなどの作業が大幅に軽減される。軽減された時間で栽培面積を拡大するなど、タマネギの生産拡大が図られることを期待している。また、統一基準による集出荷調製により品質のばらつきが少なくなることで、販売価格の面で安定した出荷が可能になる。

問 園芸作物振興事業について、どのように農業所得の向上を目指していくのか。

答 園芸品目の付加価値化や産地の育成、拡大のため、栽培用ハウスの整備支援などを実施している。今後も、関係機関と連携し、本市の園芸作物が持つ力を最大限に発揮できるよう、栽培技術の向上や施設整備を図るなど、産地の確立と振興につながる取組を進める。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和8年度山口市後期高齢者医療特別会計予算
- 令和8年度山口市介護保険特別会計予算
- 令和8年度山口市介護サービス事業特別会計予算
- 令和8年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計予算
- 令和8年度山口市地域下水道事業特別会計予算
- 令和8年度山口市国民宿舎特別会計予算
- 令和8年度山口市特別林野特別会計予算
- 令和8年度山口市水道事業会計予算
- 令和8年度山口市簡易水道事業会計予算
- 令和8年度山口市公共下水道事業会計予算
- 令和8年度山口市農業集落排水事業会計予算
- 令和8年度山口市漁業集落排水事業会計予算
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第11号）
- 令和7年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和7年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 令和7年度山口市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 令和7年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市特別林野特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度山口市水道事業会計補正予算（第3号）
- 令和7年度山口市簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和8年度山口市一般会計補正予算（第1号）

条 例

- 住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例
- 市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市債権管理条例
- 指定管理者制度の運用の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
- 山口市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市老人憩の家設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市山口障害者福祉作業所設置及び管理条例を廃止する条例
- 山口市の生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市介護保険条例の一部を改正する条例
- 山口市火入れに関する条例の一部を改正する条例
- 山口市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 山口市居住環境向上用途誘導地区内における建築物の制限の緩和に関する条例

- 山口市営住宅条例の一部を改正する条例
- 山口市営小集落改良住宅条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市火災予防条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について
- 山口市過疎地域持続的発展計画の変更について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 山口市新本庁舎整備に伴う造成工事（1工区）の請負契約の締結について
- 井関小学校管理普通特別教室棟長寿命化改良工事の請負契約の締結について
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第10号）に関する専決処分について
- 公平委員会の委員の選任について（敬称略）
岡本 充（再任）
- 山口市新本庁舎市民交流棟新築機械設備工事の請負契約の締結について
- 山口市新本庁舎市民交流棟新築電気設備工事の請負契約の締結について
- 副市長の選任について（敬称略）
仙石 克洋（新任）

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について（敬称略）
久保田 文子（再任）
上田 雅憲（再任）
日下 秀圓（再任）
村田 和子（再任）
阿川 安廣（再任）
福江 秀子（再任）
工藤 由利子（新任）

委 員 会 提 出

- 山口市議会委員会条例の一部を改正する条例

各議員の表決態度を市議会ウェブサイトで確認することができます。



賛否が分かれた議案と審議結果

（○は賛成、×は反対、―は退席）

件 名		審議結果	未来志行山口	やまぐち有隣会	県都創生山口	公明党	高志会	市民クラブ	日本共産党	地域党やまぐちの風
予 算	令和8年度山口市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	令和8年度山口市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
条 例	山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○

山口市議会では、「総務」教育民生「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



基金を活用した債券購入

基金の運用は、これまで定期預金を中心に行ってきた。近年の金利動向等を踏まえ、より効果的かつ効率的に運用益を確保するため、令和7年度途中から債券による運用を開始した。運用にあたっては、市債の償還に必要な財源を確保するために積み立てている減債基金を活用し、3億円の債券を購入した。今後も、安全性と流動性を確保しながら、健全な基金運用に努めていく。

(担当部局：総合政策部)

総務委員会

委員の意見

長期的な財政計画を踏まえつつ、新たな歳入確保策が進められている。財源確保に向けた取組として評価する。



簡易サウナの法整備と感震ブレーカーの普及促進

本市では近年、テント型やバレル型等の屋外用簡易サウナが普及したことを受け、安全確保のため新たな基準を設けた。対象は、出力6キロワット以下とし、まき・電気を熱源とする屋外型サウナで、可燃物から十分な距離を確保して設置することや、温度が異常に上昇した際に熱源を手動及び自動で遮断する装置を設置することとし、個人用を除き、簡易サウナの設置には一般のサウナと同様に届出を求め、防火対策の徹底を図る。また、令和6年能登半島地震では、停電からの復旧時に、火災が多く発生した。この教訓を踏まえ、地震時の電気火災を防ぐため、条例に感震ブレーカーに関する規定を新たに設け、住宅への感震ブレーカー設置に向けて普及促進を図る。

(担当部局：消防本部)

総務委員会



阿東地域における移動手段の確保

阿東地域の交通空白地における住民や来訪者の移動手段を確保することを目的として、令和8年度には、*公共ライドシェアの実証運行に向けた検討に取り組む。

(担当部局：阿東総合支所)

*公共ライドシェアとはバス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合に、市町村やNPO法人などが、自家用車を活用して提供する有償の旅客運送で、「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」が認められている。

【国土交通省HPより】

<交通空白地>



国土交通省ウェブサイト
〔「交通空白」解消本部〕

委員の意見

来年度の取組の中でしっかりと研究、検討していただきたい。



情報芸術センターYCAMに係る令和8年度当初予算

令和8年度当初予算における山口情報芸術センターの運営費については、管理運営費では備品購入に係る経費を精査し、企画運営費では企画事業の内容の精査に加え、山口市文化振興財団で人員配置の見直しを行ったことなどにより、令和7年度当初予算と比較して、約7,120万円の削減を実現した。

(担当部局：交流創造部)

委員の意見

本件に関してはこれまでも様々な指摘や議論を交わしてきた。そうしたことを踏まえ事業内容等を精査された結果、7,000万円を超える削減につながったものと評価する。山口情報芸術センターの使用料収入は例年と同額となっているが、立派な設備を有する施設なので、ぜひ利用が増えるよう工夫をしていただき、これまで以上に市民に身近な施設となるように取り組んでいただきたい。

生活環境委員会

生活環境委員会



休日・日中の一次救急医療の安定提供に向けた取組

本市の内科の休日・日中診療については、休日・日中の一次救急医療を安定的に提供するため、令和9年度から、従来の在宅当番医制による輪番制を山口市休日・夜間急病診療所での定点診療へ移行することとしている。

この移行に向けて、令和8年6月と7月に同診療所で、試行的な内科診療を実施することとしており、この試行によって確認された問題点などを検証した上で、本格運用を目指していく。

(担当部局：健康福祉部)



教育民生委員会



持続可能な水泳授業実施に向けた実証実験の開始

本市では、持続可能な水泳授業の確保に向け、民間施設等を活用した新たな取組として、令和8年度に嘉川小学校、興進小学校、名田島小学校の3校を対象とした実証実験を実施する。

実施場所は、施設50mプールを貸し切ることができ、複数クラスの同時利用が可能な山口きらら博記念公園水泳プールと、送迎用の自社バスが利用可能なスリーエススポーツプラザ吉敷店の2施設を予定している。学校プールの維持管理費等との比較については、今回の実証実験を通じて精査することとしている。

今後は、実証実験の結果を踏まえながら、市立小・中学校の水泳授業の在り方やプール施設整備の方向性について検討を進めていく。

(担当部局：教育委員会事務局)

教育民生委員会

委員の意見

新たな取組であることを踏まえて、今回の実証実験から得られる結果を十分に精査していただきたい。



農業委員会業務のデジタル化

農地台帳システムについて、令和8年度に、これまでの個別のシステムから、全国農業会議所が開発した全国共通のサポートシステムに移行する。

このシステムは、地図情報システムと一体化しており、タブレットでの地図情報等の情報共有が可能となることから、デジタル化の第一歩として、タブレット活用に向けた調査研究に取り組み、農業委員会活動のさらなる充実につなげていきたい。また、農林水産省が公開しているeMAFF農地ナビとも連携していく見込みで、その周知にも取り組んでいきたい。

(担当部局：農業委員会事務局)



委員の意見

今後も、デジタル技術を活用した農業委員会活動の充実に期待する。

農林建設委員会



大規模下水道管路特別重点調査の結果と今後の対応

埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没を受けて実施した大規模下水道管路特別重点調査の結果、原則1年以内に速やかな対策を実施しなければならぬとされている「緊急度Ⅰ」と判定された区間が648メートル、その区間中の損傷箇所として65か所を確認した。損傷の状況としては、管路の老朽化や腐食などによる断面の破損、管のひび割れ、浸入水、管路のつなぎ目のずれによる隙間、木の根の侵入があった。

令和8年度中に、それぞれの状況に適した方法により、速やかに修繕等を行っていく。

(担当部局：上下水道局)

委員の意見

有利な財源を活用し、速やかな修繕等に取り組もうとしていることを評価する。

農林建設委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 令和8年度当初予算「新たな挑戦 元気山口」!

への道筋
をつけて
いきたい。



問 令和8年度当初予算について、基本的な方向性、持続可能な市政・財政運営の在り方、次期総合計画を見据えた展望を含め、どのように考え編成されたのか伺う。

答 当初予算は、ずっと元気な山口市づくり、安全安心の暮らしの基盤づくりの3つを基本的な方向性とし、新たなまちづくりを進めることが可能となる予算として編成した。同時に、経営資源の再構築を行い、取組の重点化等により、強靱で無駄のない、健全な財政運営を維持する予算編成を実現できた。令和8年度には、公共施設の統廃合の方向性を明確にした上で次期総合計画の策定を進める等、ハード及びソフト事業のさらなる再構築を通じ、新たなまちづくり

未来志行山口
馬越 帝介
まこし たいすけ

行政 新たなまちづくりの市政運営方針は?

り組んでい
きたい。



問 令和8年度当初予算で掲げられた方向性や視点を、どのような方針と考えるの下で具体化していくのか伺う。

答 予算編成では、施策や事業の重点化や業務改善、効率化・省力化の視点での再構築等、限られた経営資源の効果的な配分に努め、健全な財政運営を維持する内容を実現できたこと認識している。令和8年度には、公共施設の統廃合の方向性を明確にした上で次期総合計画の策定を進める等、新たなまちづくりへの道筋をつけていきたい。また、組織と業務の再設計、地域・民間との役割分担、事業評価と次年度反映の仕組みについても、第三次山口市行政改革大綱を策定する中で、さらなる検討を進め、持続可能な市政運営に取り組んでいきたい。

やまぐち有隣会
植野 伸一
うえの しんいち

行政 公共施設のスクラップ&ビルド!



市民交流棟や広場、立体駐車場の整備に向けて解体が進む旧庁舎

問 今後の公共施設の適正配置について、どのような考え方で取り組むのか伺う。

答 人口減少局面にあっても発展する都市づくり、安心して暮らし続けられる地域づくりを進める上で、今後もある一定の公共施設への投資は必要であり、中長期的な視点での施設の更新・維持管理費用等の縮減を図ることが重要と考える。公共施設の適正配置は、機能の集約化や複合化等で機能をできる限り維持しつつ、施設の縮減を基本としている。

●その他の質問

- 産業政策について
- 地籍調査事業について
- 空き家対策について
- 農業政策について

県都創生山口
野村 幹男
のむら みきお

教育 小・中学校体育館空調設置5か年プロジェクト!

問 令和12年度までに市立小・中学校体育館への空調設備の設置完了を目指すとのことであるが、具体的な計画と、リスク分散の観点からの空調設備熱源の複数方式の検討について、市の所見を伺う。

答 令和8年度は小学校3校、中学校1校の設計を進める。令和9年度以降は、財源の確保や将来の財政負担への配慮も必要のため、具体的な設置校数は、現時点では定めていない。前年の予算編成の中で設置校を選定し、目標年度の令和12年度に設置を完了できるように取り組む。なお、空調設置完了までの代替措置として、令和7年度末までに全ての小・中学校体育館にスポットクーラーを配備する。また、熱源方式は、リスク分散の観点や経済的観点を含め総合的に検討し、地域に適した方式を選定する。



公明党
栗林 正

くりばやし ただし



産業 雇用創出に向けた新たな取組

問 民間主導での産業団地の整備を促すことはできないか伺う。

答 官民連携による産業団地整備は、民間事業者が有する独自のノウハウ、専門的なスキルを生かすことができ、本市と民間事業者が互いの強みを適切に役割分担することで、財政的リスクの軽減や事業実施期間の短縮などが期待でき、効率的かつ効果的な整備が可能になると考える。国道2号沿線では、民間開発事業者による開発が活発化しており、こうした民間所有の事業用地を活用することで、引き続き企業誘致を進める。土地利用の促進を目指し、事業所立地等の促進に資する用途地域変更の検討も進めていくことで、さらなる民間開発を誘発する環境の整備を図り、地域の活性化にも寄与したい。



高志会
伊藤 斉

いとう ひろし



行政 公共施設の延床面積削減に向けて!

問 本市が人口規模に比して過大な施設を保持していることが、今後の行政経営を深刻に圧迫するのではという強い懸念を抱いている。施設は、完成した瞬間から維持管理費や公債費の返済等により将来の財政を圧迫する。延床面積削減を計画しているが、現実には増加している。本市の公共施設の除却、統合、延床面積削減をどうしていくのか。

答 山口市公共施設等総合管理計画を見直し、改めて総延床面積の縮減目標を設定していく。現在、施設の利用状況等の資料の整理や、施設の配置基準や集約化・複合化等の展開方法など、施設横断的な縮減の進め方の整理を進めており、令和8年度中を目途に、統廃合等に向けた各施設の具体的な取組を、その実施工程と併せて明らかにしたい。



市民クラブ
部谷 翔大

へや しゅうた



上下水 水道基本料金減免を求めてきた!今後も実施を!

問 従来の見解と異なり減免を実施することとした政策的判断と基準を伺う。

答 国の臨時交付金の大幅な拡充と本市の実情を踏まえて判断した。全世帯・事業所一律の減免のため、水道料金の性質や事務処理上の課題も克服できると判断した。

問 今後、同様の国の支援があった場合、再度実施する考えはあるのか。

答 国の経済対策の内容や規模、社会経済状況や物価動向を総合的に勘案しながら適切に判断したい。

問 将来の非常時や物価高騰に対応の政策メニューの一つとして整理するのか、基本的な方向性を伺う。

答 市民生活や地域経済への影響を総合的に踏まえ、国や県の動向を注視し、必要に応じた取組を検討したい。



日本共産党
大田 たける

おおた たける



教育 薬物乱用に対する教育委員会の対応は？

- その他の質問
- 避難所について
- 武道館建設について

※オーバードーズ
医薬品を、決められた量を超えて
たくさん飲んでしまうこと。

問 本市の教育現場で、*オーバードーズについて、どのように注意喚起を図るのか伺う。

答 今年度、教職員、PTA、学校医等を対象に、オーバードーズの背景にある児童生徒の心理的課題について支援の在り方を学ぶ機会を設けた。特に家庭との連携は必要不可欠であり、薬物乱用防止教室への保護者の参加依頼、学校だよりや保健だより等を活用した啓発とともに、保護者会などで児童生徒の小さな心の変化やサインを見逃さないよう促している。これまで以上に教職員や保護者、関係機関が一体となって子供たちのSOSに気づき、見守ることのできる体制づくりを努める。



公明党
山本 敏昭
やまもと としあき



都市 安心の県都を次世代へつなぐための展望は？

- その他の質問
- ランドマークとしての新本庁舎への取組
- 社会的養護を支えていく取組



問 南部地域の振興に向けて、思い切った政策展開や財政出動、相乗効果を生む広域的政策の導入が必要と考えるが、市長は南部地域をどのような地域にされたいのか、長期的な展望について伺う。

答 国道2号や新山口駅といった広域交通の結節性という南部地域の交通利便性の高さを生かし、小郡、川東、川西の各エリアの特性に応じた定住促進を図る（仮称）南部10,000人プロジェクトを次期総合計画で具体的に検討する。地域特性を生かした産業振興と交流人口の創出により、南部地域全体の持続的な発展を実現していきたい。



未来志行山口
坂井 芳浩
さかい よしひろ



財政 山口市は財政危機を宣言すべきレベルだ!!

識者会議設置は考えていない。



問 山口市の実質単年度収支は、平成30年度から令和6年度まで7年連続のマイナスであり、県内では本市だけでなく、余剰がない。財政危機を宣言した自治体と比べても基金残高が少なく、将来負担比率も高いため、新たな施設を建設する財政状況にないと考ええる。他自治体では、設置した外部有識者会議から、財政危機に陥っているとの提言を受けたようだが、本市も設置してはいいかがか。

答 経常収支比率は今後微増を見込んでいます。県内平均に比べ、本市の基金残高は低く、起債残高と将来負担比率は高い状況だが、想定範囲内で推移している。しかし、福祉や子育て支援等の需要が高まる中、無駄のない行財政基盤の確立が必要である。なお、外部有識者会議設置は考えていない。



やまぐち有隣会
野村 雄太郎
のむら ゆうたろう



文化 文化芸術を軸に都市の活力を創出する創造都市!



PROJECT MRT—Natureless Solution / 太陽と土と糞から切り離れたテクノロジーの再考
(撮影:塩見浩介
写真提供:山口情報芸術センター〔YCAMI〕)

問 YCAMが、どのような取組を通じて本市のまちづくりにおける役割を果たしていくのか伺う。

答 市民が日常的に参加できる取組を進めることで、市民に親しまれ、誇れる施設となるよう努めるとともに、新たな価値と交流を生む文化芸術創造拠点として、引き続き発展させていく。メディアテクノロジが持つ可能性とYCAMが有する創造性を様々な分野で発揮し、地域の多様な主体と共に行う創造的な活動を通じ、文化の薫る創造都市づくりに貢献していく。

- その他の質問
- 中山間地域における農業の担い手確保



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



子育て 放課後児童クラブへのより強力な取組を!

(市公式ウェブサイト)放課後児童クラブ



問 開所時間を延長する放課後児童クラブの増加を評価する。一方で、最大の課題である待機児童解消に向け、より強力な取組が必要である。市の今後の取組と、老朽化した施設整備等への対応方針について伺う。

答 待機児童解消に向け、まず場の確保として、学校施設や民間施設の活用等を基本に取組を進めている。同時に人材確保として、市報や市公式ウェブサイト等を活用した求人募集や、賃金改善手当・処遇改善手当の支給に加え、令和8年度には、ハローワーク山口との連携強化による求職者との面談会等の実施を検討している。施設整備については、各施設の老朽化等の現状を把握し、既存施設への移転も含め、適切な施設の維持管理に取り組む。



未来志行山口
梶山 俊哉

すぎやま としや



教育 日本一本を読むまちづくりは後退か



山口市立小郡図書館

問 市は、日本一本を読むまちづくりを掲げ、第四次山口市立図書館サービス計画を進めているが、令和8年度当初予算資料にはこの文言がなく、その看板を取り下げたのか。また、資料購入費の大幅削減や学校への図書配送廃止等によって、図書館サービスの低下が懸念されるが、サービス低下を招かないための代替案があるのか伺う。

答 日本一本を読むまちづくりの方向性に変更はない。重複購入の抑制等による真に必要な資料整備に努め、市立中央図書館の本を学校最寄りの図書館で受け取れるようにするなど、利便性低下を招かないよう取り組む。



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



教育 地域クラブ活動への移行に向け指導者確保が急務

問 不足している指導者の確保について、市職員の参画を含め方向性を伺う。

答 指導者が不足している競技等については個別に係団体に協力依頼するなど全力で取組を進めている。競技等ことの指導者不足状況を随時公表し、現状を共有している。また、市職員が地域の一人として地域クラブ運営に参画できる仕組みを整えている。

ごみ分別 分かりやすいごみ分別ルールの見直しへ

問 排出者の視点に立ち、複雑なごみの分別ルールを整理する必要があると考えるが市の所見を伺う。

答 分別ルールは法律の規定やごみ処理の過程を踏まえて設定しているが、法律やごみ処理技術も変化するため、最新の情報を収集し、ルールの見直しの検討を進めたい。




京都創生山口
倉増 賢治

くらまし けんじ



都市 (仮称)南部10,000人プロジェクトの浸透

問 京都づくり、地域づくりの浮沈を占う重要なプロジェクトを進めるにあたって市長の考えを伺う。

答 具体的な取組については、次期総合計画で今後検討を進めることとしており、地域、世代、分野別の意見交換会、市民意識調査等の様々な手法により意見を伺いたい。また、既存の都市基盤を生かすことを基本としつつ、行政と民間の適切な役割分担の下、新たな整備も検討したい。あわせて、積極的な情報発信にも努める。

問 プロジェクトを住民にどのようにして早期に浸透させていくのか伺う。

答 地域交流センター、南部振興調整担当部長が所属する小郡総合支所、全体を束ねる都市整備部が一体となり情報共有しながら、同じように対応できる体制の整備に配慮する。



やまぐち有隣会
中野 光昭

なかの てるあき




次期山口市総合計画策定事業の進め方

問 次期山口市総合計画の策定を、どのような基本的な考えの下で進めていくのか。

答 令和10年度から計画期間とする次期山口市総合計画の策定にあたっては、多くの市民や地域の皆様からの意見、市議会での議論を踏まえながら進めていく中で、外部有識者や公募委員等で構成する山口市総合計画策定協議会を設置し、都市全体の元気を上げていく、選ばれるまち、スマートなまちの3つの視点を踏まえながら、新たなまちづくりへの意見を伺っていききたい。また、地域、世代、分野別に直接意見を伺い、市民意識調査等も実施したい。次期総合計画の策定過程の各段階で、議員の皆様にも総合計画の方向性を語り、議論を重ねながら、次期総合計画を策定していきたい。




高志会
伊藤 青波
いとう しょうは


災害発生時における県有施設の活用

問 本市にある堅牢で収容性の高い県有施設を最大限に活用するため、災害発生当初から開設する指定避難所として位置付けるべきではないか。また、避難所として使用する際の鍵の管理や開錠手順、運営スタッフの確保等、施設管理者である県と市や地域との役割分担等はどうか。

答 県有施設の避難所等への活用について意向調査があり、協定締結済みの県立高校3校以外の市内10施設も活用したい旨を回答した。本市では、発災当初から全ての避難所を一律に開設するのではなく、被害状況や避難者数に応じて順次開設している。現在見直し中の県避難所運営ガイドラインを踏まえて市マニュアルを改訂するとともに、県や地域団体等と調整しながら運営体制を確立していく。




やまぐち有隣会
宮川 英之
みやかわ ひでゆき


窓口開庁時間短縮の実証開始は10月から

問 10月から開始される行政手続窓口の開庁時間短縮の実証について、現状、窓口を開く前と閉めた後にどのような業務を行っているのか。また、実証期間は1年間とのことだが、期間の短縮や市民意見の反映方法について伺う。

答 業務開始前や終業後には、業務を円滑に開始、終了させるための準備や調整を行っている。それを勤務時間内に行うことで、事務処理の正確性・迅速性を高めるとともに、業務内容の改善、新規事業の立案に必要な時間の確保にもつながり、市民サービスの向上に寄与するものと考えている。実証期間は、通年での影響を検証するため1年間が適当と考える。また、実証期間内に市民意見を収集し、その内容を検証した上で、本格実施の検討を進めたい。




市民クラブ
山見 敏雄
やまみ としお


駐車場整備について

問 新山口駅周辺のポテンシャルを向上させるため、市や県が駐車場を設置することは、市民のために税金を使うという意味では有りだと考えるがいかがか。

答 現在実施中の駐車場基礎調査の結果や小郡都市核の発展の方向性を踏まえ、エリアごとの将来需要予測を作成し、民間事業者による立体駐車場の整備を促進するための支援策の導入を検討していく。具体的な支援策については、駅周辺にふさわしく実効性の高い取組となるよう、また、民間事業者の投資意欲を高める取組となるよう、事業者との意見交換を行いながら検討していきたい。



新山口駅周辺



高志会
有田 敦
ありた あつし


行政 「ずっと元気な山口」実現のための取組について



問 新規就農者や若い就農者のため、農業全般の研修が行える施設の整備とワンストップで総合的な支援ができる組織の必要性について伺う。

答 実際の農業現場に近い設備を有する施設や総合的な支援体制がとれる組織を整備することは、担い手が定着する仕組みとして有効な取組と考える。先進事例について引き続き情報収集を行いたい。

問 中心市街地活性化事業の一部を交付金事業化してはどうか。

答 令和8年度は、既存のイベントに対する補助事業を一本化し、一定の裁量を持って柔軟に実施できる体制を整え、その取組を支援する。

●その他の質問

- 地域おこし協力隊の定着に向けた支援
- 未利用公共施設の有効活用



文化 文化施策の方針、位置づけと市民理解について



問 本市における文化施策の方針について伺う。また、市民に広く理解を得る取組が必要ではないか。

答 文化の薫る創造都市づくりとして、大内文化に象徴される歴史文化と、現代的・先端的な文化といった幅広い文化の振興を本市の都市政策の柱に位置付けており、文化創造ビジョンでは、歴史文化資源の活用、文化芸術活動の推進等を掲げている。これまでに、市報や市公式ウェブサイト、SNS等を活用し、また、報道機関の取材等を通じて市内外に情報発信をしてきた。市民の暮らしを豊かにする文化事業であることを伝えていくよう、これまで以上に分かりやすい情報発信に努める。

●その他の質問

- 本市の水産業振興政策
- 秋穂のカキ養殖



学び 自分らしく輝ける「地域クラブ移行」に!



問 地域クラブ活動への移行により会費が発生するが、経済的困窮世帯への支援について伺う。

答 生活保護世帯及び就学援助世帯を対象に、会費の減免を行う方向で検討を進めており、本市としての支援制度を整備していく。

問 部活動がなくなることで、登校する意義を見いだせずに不登校になる可能性も考えられるがその対策を伺う。

答 移行を契機に、今一度、学校教育活動全体を見つめ直し、魅力ある学校づくり、授業づくりを通して、生徒一人ひとりが自分らしく輝ける場の創出に取り組んでいく。

●その他の質問

- 持続可能な阿東地域の医療提供体制
- 健康診断未受診の児童・生徒に対する支援



福祉 どこに暮らしても安心できるまちの実現に向けて



問 中山間地域において生活の生命線となる訪問介護サービスや、他の介護サービスへの支援について伺う。

答 山口市介護サービス提供事業者連絡協議会との意見交換等も行いながら、次期介護保険事業計画の策定を進める中で、必要な施策の検討を深め、中山間地域をはじめ、本市における介護サービス提供体制の維持・確保の支援を進めたい。

教育 中山間地域の高校生の遠距離通学支援

問 山口市独自の支援の構築について伺う。

答 高校再編に伴って生じた負担に対する支援については、引き続き県に要望していく。大変難しい課題であるが、市長部局と連携しながら、本市教育委員会としても取り組んでいきたい。



福祉 地域福祉を支える老人クラブ

問 山口県老人クラブ連合会では、山口市老人クラブ連合会、民生委員、社会福祉協議会等が参加するマッチング会議を実施されているが、本市における連携した取組の状況について伺う。また、本市の高齢者福祉の一役を担っている老人クラブに対する支援が必要と考えるがいかがか。

答 本市では、各地域の単位老人クラブが、地区内の高齢者等への支え合いの取組を実施されている。一方、会員の減少や活動の停滞などの課題もあり、市老人クラブ連合会では、若手会員の確保等を重点目標に掲げられている。地域共生社会の実現に向けた取組を推進していく上で、老人クラブの役割は必要不可欠なものと考えており、今後とも老人クラブの活性化に向けた支援に努めたい。




やまぐち有隣会
富田 正朗
とみた まさひろ


行政 文化を核としたまちづくりを!

問 将来の文化人材の育成、獲得を念頭に、地域の文化活動や伝統芸能等を継承し、文化施設や歴史的建造物の老朽化対策と有効活用を図りつつ、文化そのものをまちづくりの中心に捉え、未来を形づくる将来への投資を行うことが重要だ。山口市だからこそ実現できる都市像を明確に発信し、将来にわたり魅力的で選ばれる文化観光都市を目指すべきと考えるがいかがか。

答 時代とジャンルを超え、幅広い文化資源が折り重なる本市の個性を伸ばし、文化を核としたまちづくりとしての諸施策を展開し魅力を高めることは、定住促進効果や地域への愛着や参画意識を高めるためのブランド投資でもある。画一的な都市、縮小均衡スパイラルに陥った都市とならないよう戦略を構築する。



未来志行山口
米本 太郎
よねもと たろう


(市公式ウェブサイト)
山口市文化創造ビジョン



教育 未来を拓く 部活動地域移行に向けて

問 移行実施が迫る中で、組織改編における移管の考え方と狙い、具体的な取組状況と今後の方針について伺う。

答 これまで交流創造部に部活動地域移行推進室を設置し、運営体制の基盤を構築してきた。令和8年9月からの本格実施にあたり、学校との連携強化を図り、取組を効果的に推進することを目的に、教育委員会事務局に移管し、地域クラブ活動推進室と改称する。こうした中、各地域クラブに設置する106の競技・種目等を決定した。まずは3月末の時点で指導者の配置を決定し、5月下旬までに指導者を最終決定したい。現在、約半数の57競技・種目等の指導者が不足しており、最大の課題と認識している。今後も関係団体の皆様の協力を得ながら全力で取り組む。




未来志行山口
鳥養 祐矢
とりかい ゆうや


交通 阿東地域で暮らす未来について

問 若者が過疎地域への移住を進める際に、結婚、子育て、学校、医療、老後の買い物を見据えた時、移動は最大の課題である。新たな交通政策の検討にあたっては、住民が主体的に考える機会を大切にし、その声を反映した施策を進めていくべきではないか。

答 移動手段の確保は、早急の1つとして認識している。今後、公共ライドシェアの実証運行に向けた検討においても、利用者、交通事業者、関係部局を含めた協議の場を設け、地域の皆様に主体的に考えていただく環境を整えることで、幅広い世代の皆様の声を最大限反映できるような取り組みたい。

●その他の質問

- 高校生の地元愛を育む取組
- 市民の声から創るAIを用いた政策立案




未来志行山口
安河内 淳朗
やすこうち あつろう


議会からのお知らせ

議会の傍聴へお越しください！

新しい議場では、議案の採決の方法が従来の起立方式から押しボタン方式に変更されました。大型モニターに議員ごとの表決態度がリアルタイムで表示され、傍聴席からも誰がどの議案に賛成・反対したのかが一目で確認できるようになりました。

傍聴受付は、本会議または委員会開催日当日の午前9時30分から随時行っています。事前予約の必要はなく気軽に傍聴していただけますので、ぜひ議場に足をお運びください。

議会では、市民の皆様の暮らしに直結する政策や予算について真剣に議論を行っています。傍聴を通じて議会の雰囲気や議員の活動を身近に感じていただき、市政への関心を高めるきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。

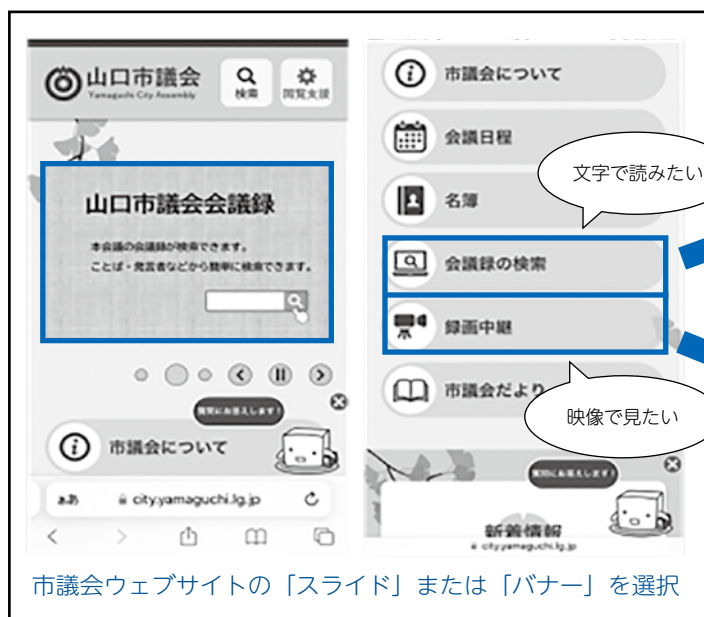


議員がどんな質問をしたか、ぜひ、ご覧ください！

山口市議会では、本会議の様様を山口ケーブルビジョンで生中継しており、インターネットでの録画配信もしています。過去の質問と答弁のやり取りをご覧になる場合は、山口市議会ウェブサイトで、文字情報で確認するときは「会議録の検索」、映像として確認するときは「録画中継」からアクセスできます。



市議会ウェブサイト



市議会ウェブサイトの「スライド」または「バナー」を選択



複数の方法で検索ができます。



市議会だよりの裏表紙や8ページ以降の各議員の写真の下に掲載されている二次元コードを読み取ることも、映像を視聴することができます。

議会の主な動き



12月

- 25日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)

1月

- 8日 編集委員会
- 13日 会派代表者会議、議会運営委員会、山口市議会活性化充実協議会



令和8年山口市消防出初式(1月11日)



令和8年山口市二十歳のつどい(1月11日)

2月

- 4日 全国市議会議長会第243回理事会、第121回評議員会合同会議
- 6日 山口市議会活性化充実協議会、議会運営委員会
- 9日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会
- 16日 第1回定例会初日(～3月13日最終日)
- 17日 議会運営委員会
- 24日 編集委員会

3月

- 10日 山口市議会スポーツ応援議員連盟総会、議会運営委員会、編集委員会
- 13日 議会運営委員会

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

■受け入れ団体(1月～3月)9団体

- 1月 7日 愛知県一宮市議会
- 16日 長崎県長崎市議会
- 19日 熊本県八代市議会
- 20日 愛知県西尾市議会
- 21日 福島県福島市議会
- 27日 福島県郡山市議会
- 兵庫 県姫路市議会
- 28日 大阪府堺市議会
- 2月 4日 京都府城陽市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

今号をもちまして、現議員の任期中の「市議会だより」は、一区切りとなります。市民の皆様の声に支えられ、議会としての責務を果たしてまいりました。これまでのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今後とも市政への関心とご参加をお願いいたします。(大田)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…5月27日(水)まで 請願の受付…6月3日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (初日) 10:00～					
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
21	22	23	24	25	26	27
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
28	29	30	7/1	2	3	4
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ウェブサイト

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継

<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ウェブサイト等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

約70年ぶりの大改修を終え、新しい姿を現した国宝瑠璃光寺五重塔です。

新年度予算を審議した3月定例会、市議会はこれまでの歩みを未来へつなぐため、今期4年間の集大成として議論を交わしました。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 中野光昭
委員 鳥養祐矢・安河内淳朗・米本太郎・植野伸一
倉増賢治・山本敏昭・有田 敦・部谷翔大

次号は8月発行です